

事業活動温暖化対策実施状況報告書

2022 年 7 月 31 日

熊本県知事 蒲島 郁夫 様

この記入例は、2021年度の実績を
2022年度に報告する場合で作成しています。

報告者 住所 熊本市中央区〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

氏名 株式会社〇〇〇〇
代表取締役社長 〇〇 〇〇

熊本県地球温暖化の防止に関する条例第18条の規定により、次のとおり報告します。

連絡先	担当部署	担当部署名	〇〇部 〇〇課
		所在地	(〒 〇〇〇 - 〇〇) 熊本市中央区〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
	担当者名		〇〇 〇〇
	電話番号等	電話番号	096 - 〇〇〇 - 〇〇〇
		F A X 番号	096 - 〇〇〇 - 〇〇〇
		メールアドレス	〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.〇〇.〇〇

※受付欄	※摘要

備考 1 ※欄は、記入しないでください。

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）		熊本市中央区〇〇〇〇〇〇〇		この記入例は、2021年度の実績を2022年度に報告する場合で作成しています。						
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）		株式会社〇〇〇〇 代表取締役社長 〇〇 〇〇								
事業概要		〇〇業								
該当する事業者要件		<input checked="" type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者) <input type="checkbox"/> 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者) <input type="checkbox"/> 特定事業者以外の事業者								
計画期間		2021 年度 ~ 2025 年度								
事業活動温暖化対策計画書に定めた措置の実施状況		・冷暖房設定温度(夏季28℃、冬季20℃)そのほかエコオフィスの徹底(全事業所) ・LED照明設備の導入(本社、令和6年度中) ・太陽光発電設備の導入(A支店、令和5年度中)								
温室効果ガスの排出の状況等	年度区分	基準年度(2020)年度	前年度(2020)年度	計画期間					目標年度(2025)年度	
	① 排出量(t-CO ₂)	5,773	5,773	5,582	()年度	()年度	()年度	()年度	5,484	
	増減率(基準年度比)			△ 3.3 %	%	%	%	%	△ 5.0 %	
	温室効果ガス算定排出量の削減	森林の整備及び保全(t-CO ₂)			15.0					
		再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給(t-CO ₂)								
		グリーン電力証書又はグリーン熱証書の購入(t-CO ₂)								
		その他知事が認めるもの(t-CO ₂)								
		②合計(t-CO ₂)			15.0					
	① - ②			5,567						
	差引後排出量(t-CO ₂)			5,567						
	差引後増減率(基準年度比)			△ 3.6 %	%	%	%	%		
	原単位算定排出量等	排出量(t-CO ₂)	0.960		0.930					0.840
		増減率(基準年度比)			△ 3.1 %	%	%	%	%	△ 12.5 %
		差引後排出量(t-CO ₂)			0.930					
		差引後増減率(基準年度比)			△ 3.1 %	%	%	%	%	
原単位の考え方		(温室効果ガス排出量) / (県内事業所の総床面積)								
計画の進捗又は達成の状況等		職員の省エネ意識の浸透により、概ね計画どおり排出削減が進んでいる。								
特記事項										

報告年度の排出量は別表1の排出量合計値と一致している必要があります。

備考 1 □のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。
 2 「計画期間」並びに「基準年度」「前年度」「目標年度」及びそれらの排出量は、提出済の事業活動温暖化対策計画書に一致させてください。
 3 「計画の進捗又は達成の状況等」欄には、計画期間における排出量削減の進捗の状況及び計画終了時における事業活動温暖化対策計画書に掲げた温室効果ガスの排出の抑制の量に係る目標の達成又は未達成の理由等があれば、記入してください。
 4 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。

別表1

エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量

			2021 年度
No	事業所の名称	事業所の所在地 (自動車運送事業者において は、使用する自動車の 使用の本拠の位置)	エネルギーの使用に伴って 発生する二酸化炭素の 温室効果ガス算定排出量 (t-CO ₂)
1	熊本本社	熊本市中央区〇〇〇〇〇〇	2,188
2	A工場	益城町〇〇〇〇	3,020
3	B営業所、C営業所	熊本市南区〇〇、宇城市〇〇ほか	374
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
事業者合計			5,582

備考 1 今回報告の対象となる年度における事業所ごとのエネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量を地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第3条に規定する方法により算定してください。

2 「エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素の温室効果ガス算定排出量」の欄には、次の(1)～(3)に掲げる量(他人への電気又は熱の供給に係るものを除く。)の合計量を記載してください。

- (1) 燃料の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量
- (2) 他人から供給された電気の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量
- (3) 他人から供給された熱の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量

3 原油換算エネルギー使用量が1500kl未満である事業所については、まとめて記入してもかまいません。